



## 明るい未来に向かって

校長 岩田 明正

3月です。令和2年度の締めくくりの月となりました。1年間の学校だよりの内容を振り返ると、やはり新型コロナウイルス感染症がらみの話題が多く、いかに学校を含めた世の中が影響を受け、振り回されてきたかが今更ながらにわかります。ちょうど1年前、2月末には政府からの要請を受けた、臨時休業のお知らせ第1弾を保護者向けに配布しています。こんなことは初めてだ！と驚き、まさか、6月まで休校になるとは誰も想像していませんでした。

不安に満ちた年度の始まりを経て、今、私たちは1年を終えようとしています。生活様式や学習や行事の実施形態の変化はすさまじいものでしたが、それを乗り越える度に人の力のすごさを感じた1年でした。ソーシャルディスタンスで実際の距離は離れても、気持ち、思いといった精神的なつながりは逆に強く、近く、深まったのではないかと思います。様々な変更にご理解をいただき、ご協力してくださった保護者の皆様、学校行事に参加できなくとも、あたたかく見守っていただき、励ましの言葉をくださった地域の皆様、そしていつも元気に、前向きな気持ちで生活していた子どもたち。その力が集まってこそこの「舞岡小学校」だとあらためて実感しています。

その思いを強く感じたのが、先日行われたマイコンサートです。この状況下で本当に開催できるのか、ヒヤヒヤしていましたが、その不安を吹き飛ばす子どもたちの上手な演奏に感激し、保護者の方からも「見ることができて良かった」という感想を多くいただくことができたので大成功といって良いのではないかと思います。詳しい話はこの便りの裏面にも書かれていますので、ここではふれませんが、その行事一つをとっても、全ての家庭や地域の理解が得られ、感染症対策にみんなで協力し、不安材料を取り除く努力を行わなければできなかったことです。本当にありがたいことです。

さて、マイコンサートをもって、今年度の大きな行事はほとんど終わります。あと残されているものは、卒業証書授与式です。今年度の6年生は最初からいつもと違う1年を過ごしてきました。そのような逆境を明るさと誠実さで乗り越え、全学年を引っ張るリーダーシップをもって、舞岡小を支えてきた子どもたちです。次のステージでも大活躍するに違いない48名を引き続き見守っていただけたら幸いです。そして、彼ら卒業生も含め、これから私たちが向かう未来は今よりももっと明るいものであるはずです。そう信じてもうひと頑張り、力を合わせ前に進んでいきましょう。

## 2月 各学年の活動の様子（マイコン特集号）

### 1年生「初めてのマイコンサート」

鍵盤ハーモニカやタンブリン、鉄琴や木琴などの楽器に挑戦しました。練習では、同じ楽器の友達同士で教え合ったり、音を合わせたりする姿が見られました。当日の演奏後には、「みんなでリズムをそろえられた。」や「緊張したけど、練習を思い出したら上手にできた。」などと振り返り、みんなで心をつにして演奏するよさを感じることができました。自分の演奏が終わった後も鑑賞をして、「高学年の迫力のある演奏がかっこよかった。」や「全てのクラスの演奏が聴けて感動した。」などの感想を伝え合いました。



### 2年生「みんなでリズム合わせて」

1組は「汽車は走る」、2組は「チャチャ マンボ」を演奏しました。クラスごとでの練習となり、それぞれのクラスから聴こえてくる演奏にわくわくしていました。楽器ごとの練習では、自分たちでリズムの取り方などの工夫をしている姿も見られました。

振り返りでは、「みんなで周りの音を聴いて演奏できたのが成長したと思う。」「みんなの演奏が合わさったとき、楽しかった。」などと、みんなで合わせて演奏することを楽しんでいました。



### 3年生 「初めての演奏発表！」

3年生になり、初めての楽器演奏の発表でした。クラスで協力して、一つの曲を演奏する楽しさを味わうことができました。1組では、「ミッキーマウスマーチ」を、2組では、「ゆかいな木きん」を演奏しました。マイコンサートのふり返りでは、「緊張したけれど、演奏が終わったときに、大きな拍手をもらえてうれしかったです。」「練習すると上手になるということが分かりました。」



### 4年生 「心をひとつに」

4年生は、1組は「キセキ」、2組は「Happiness」の演奏を行いました。クラスごとの演奏でしたが、お互いのクラスを応援しながら、練習を重ねました。

1組は、初めはなかなかまとまらない演奏でしたが、友達と教え合ったり、互いの音を聴き合ったりする中で、心をひとつに演奏することができました。2組は、経験したことのない速さの曲で、不安だらけでした。しかし、本番の前日まで課題を一つひとつ乗り越えるために練習し、当日は努力したことが達成感につながり、楽しく演奏ことができました。



## 5年生「心を一つに響かせて」

5年生は、1組は「夜に駆ける」2組は「全力少年」を合奏しました。初めてのクラスごとの演奏でしたが、それぞれのクラスの良さが表れ、どの子も楽しみながら演奏できました。

1組は、最初テンポの速さに悪戦苦闘しましたが、自発的に練習を重ねていき、曲が仕上がった時の喜びもひとしおでした。協力の良さや努力の大切さを実感したマイコンサートでした。



2組は、楽器の音量バランスに気を付けながら、それぞれの音の響きを大切に演奏しました。友達と協力し創り上げる達成感を感じました。



## 6年生「最後のマイコンサート」

小学校最後のマイコンサートはクラスごとの演奏ということで戸惑った部分もありましたが、クラスごとで練習に励んできました。1つの楽器に対する人数が例年よりも少なくなるため、一人ひとりが自分のリズム・音に責任をもって練習しました。1組は、なかなか迫力ある響きが出せずにいましたが、学年リハーサルで2組の演奏を聴き刺激を受けました。2組は、演奏に自信をもてずにいましたが、1組に披露し、拍手をもらえたことで、演奏に自信をもって、本番に臨むことができました。発表はクラスごとではありましたが、学年で高め合いながら、当日素敵な演奏ができてよかったです。



## 専任より

最近、舞岡小でも子どもたちのスマホの利用が増えているとちらほらと耳にしています。スマホを持つということは、悩みの種を一つ持つということでもあると考えています。子どもは「みんなが持っているから、ほしい。」「もっていないと、友達の輪に入れない。」と言うこともあるかもしれませんが、しかし、何のために持つのか親子でよく考えることが大切です。数年前にはなかったトラブル、親世代の私たちには想像もつかないようなトラブルが起きる可能性もあります。ご家庭で持たせたスマホをめぐるトラブルに、学校が介入することはできません。

今年度は、横浜市教育委員会の「安心安全なスマホ、SNS利用」、神奈川県警の「ネットデビューの前に知っておくべき保護者の心構え」、ベネッセ基金の「初めてのスマホ安心ガイドブック」を配布しました。是非、お子さんのスマホデビューの前に今一度、内容をご確認ください。子どもたちが不必要に嫌な思いをしたり危険な目に遭ったりしないようご協力ください。

## ※上履き寄付のお願い

ご家庭にサイズの合わなくなった上履きがありましたら、名前をマジックで塗りつぶして、寄付して頂けると幸いです。忘れてしまったときや、給食をこぼした等で汚して履けなくなったときに、貸し出し用として常備しています。